

【第3回会議集約】目指すべき姿・整備内容に対する委員の意見

1 教育環境の質的向上

1-1 多様な学習形態への対応

【全般】

- ・ 将来を考慮したフレキシブルな空間の確保
- ・ 移動間仕切りの活用
- ・ 開放的な空間
- ・ 音の広がりなどにも配慮、反射音の検討
- ・ 仕切りはきちんとあり、視界を遮っている方が良い
- ・ 校歌を意識した学校施設づくり ➡ 空港 ➡ 大空へはばたく中学生のイメージ

【教室】

- ・ 普通教室、特別教室が手狭
- ・ 収納や机なども見直し
- ・ 天井も3mでは低い。
- ・ 簡単に、そして自由に変化させることのできる教室
- ・ 廊下の間仕切りは移動式
- ・ グループディスカッションなどを行える空間(例. 特別教室は教科毎ではなく、国語、英語、数学などの一般教育はアクティブに使用できるスペース)
- ・ 教科ごとの特別教室
- ・ 豊山中学校独自の特別教室
- ・ 天井付けプロジェクター、壁面のホワイトボード化
- ・ ホワイトボードや移動家具などのフレキシブルに使用できるものをICT化と併せて検討
- ・ つり下げ式の大型モニター
- ・ 電子黒板(スクリーンと黒板の兼用)
- ・ タブレット端末を収納できる机(余裕のある机)

【多目的スペース】

- ・ 中間的な学習スペース
- ・ 普通教室に隣接するワークスペース
- ・ 多様な学習形態に対応したラーニングスペース
- ・ 各学年ともに学習室(学年室)
- ・ 個別学習・個別指導に対するためのスペースの確保
- ・ 多目的に使用できる教室を1学年分程度
- ・ 教科毎に先生が集うルーム
- ・ 学年全員で共有できるラウンジ

- ・ 交流スペース、多目的スペース(空間を広げたり、狭めたり自由度が高い設計)
- ・ 階段教室
- ・ 生徒昇降口からずっと伸びた、しかも幅の広い大階段を1箇所
- ・ 生徒作品の発表の場
- ・ 生徒が、自分の言葉で主張し、発表できる場所(各室のモニターで様子が視聴できるとよい。)
- ・ 情報共有や展示物を設置できるスペース
- ・ 広い廊下等に個別指導または相談スペース
- ・ 広い廊下と階段
- ・ 花を生けられるような廊下
- ・ 地域利用にも配慮した扇型の階段
- ・ 不登校やいじめなどへ対応のできる居場所
- ・ HOTroom(教育相談・不登校生徒)
- ・ 地域の偉い方や卒業生など言葉や物を掲示できる場所
- ・ 校訓「創造・責任・健康」の見える化
- ・ 放課後の生徒の居場所

【情報教育】

- ・ 校舎中央に、図書館などと連携したオープンメディアセンター
- ・ オンライン教育に対応したICT環境の整備
- ・ コンピュータ室と図書室を近接または接続
- ・ タブレット端末を活用して従来のPCや図書館と連携
- ・ タブレット端末等の施錠付き保管スペース
- ・ 十分な電源(コンセント)の確保

【食育】

- ・ 配膳室にランチルーム、家庭科室を近接させ、地域の活用も踏まえた、食育センター化
- ・ 給食センターから献立情報を配信

【運動施設】

- ・ 広大な運動場の確保と、体育館と武道場、テニスコートの整備

【文化的活動施設】

- ・ 音楽室、文化系部活動の活動スペースの確保

【その他】

- ・ 地域の人たちと学校の部活や授業のあり方について、話し合うような場を設けては
- ・ 小中一貫校を目指すべき

1-2 学校ごとに特色のある教育環境

【学校連携】

- ・ 小学校と中学校の連携ならば、現所在地
- ・ 現有地であれば、小学校、中学校共に古いので、小中一貫校を検討

【施設連携】

- ・ 学校とその他公共施設の連携の観点では、ホール・図書館・グラウンドのあるコミュニティゾーン（豊山町第5次総合計画）へ移転
- ・ 町内の公共施設（文化施設、スポーツ施設など）との機能連携分担
- ・ まちづくりの拠点としての学校施設
- ・ 社会教育センターとの連携
- ・ 生涯学習も含めた拠点施設
- ・ 学校施設と生涯学習施設の施設管理上の棲み分け、役割分担

【地域連携】

- ・ 地域との連携は、現所在地が県道名古屋豊山稲沢線の通過側帯であり（ノンストップ）、交差点、更には上記施設のあるコミュニティゾーンへの移転
- ・ 地域の活動スペースや展示室
- ・ 休日等は地域の人たちの運動の場として提供
- ・ より積極的な地域との交流
- ・ 地域の方が日常的に学校の場で学習することは必要

【その他】

- ・ 子どもの情報交換を行い、先輩教員の仕事を見て学ぶことができる職員室

1-3 生徒数に対応した空間の確保

【生徒数に対応した空間】

- ・ 35人学級に完全に移行しても対応できる十分な広さと収納スペースを確保した普通・特別教室
- ・ 多目的な用途に対応できる机の広さ
- ・ 多目的に使える教室の確保
- ・ フリー教室の設置
- ・ 50年後を見据えて自由にレイアウトできる施設
- ・ 部屋数を多めに作っておき、場合によってクラスが増えた場合に転用できるようにしておいても良い。

【障害を持つ生徒のための教育環境】

- ・ 特別支援学級の整備・充実
- ・ 普通教室や特別教室へのバリアフリーアクセス
- ・ インクルーシブ教育の具体的取組みを明確に
- ・ 特別支援の必要な生徒のニーズを明確にし、適切な学習環境を検討
- ・ 特別支援教室と普通教室との配置を検討
- ・ 障害の種別に柔軟に対応できる教室の確保
- ・ 受け入れるレベルだけではいけない。自閉症の子などがクールダウンや相談できる場所など丁寧な対応が必要。豊山中学校がモデルとなるようなものを。
- ・ バリアフリーアクセスやユニバーサルデザイン化
- ・ 個性を持って学んでいける場所や思いやりの心を育む環境づくり

1-4 働きやすい執務環境

【管理諸室】

- ・ 職員室の拡張、更衣スペースの拡充
- ・ 余裕のあるスペース
- ・ 教職員の休憩スペースの確保
- ・ 女性教員のための休憩室
- ・ 管理諸室（印刷室や放送室、進路室等）と更衣室を集約
- ・ 校長室と応接室、中会議室の区分、大会議室、多目的室が必要
- ・ 様々な勤務形態の教職員に対応
- ・ ボランティアスペース
- ・ 校務全般を見直し、創造的な執務スペースとして全国モデルを
- ・ 職員室という言葉を使わない。訪れやすく、相談しやすい部屋に
- ・ 立ち入りにくいイメージの払しょく
- ・ 机配置も一般的な田の字型の横断的な配置ではなく、机のないフリースペースを考えてもいい。
- ・ 教科担当者毎に集まれる雑談スペース
- ・ ファイルは電子化、教務スペースと校務スペースを峻別

【教務スペース】

- ・ 教材研究、教材作成、などのスペースの充実
- ・ 管理ゾーンと教えるゾーンを明確にし、クリエイティブな教えるゾーンを
- ・ 移動時間短縮のための、教室の控室や開放的なバックヤード

【駐車場】

- ・ 来客対応や地域の活用から、現状の駐車区画の倍は必要

【全般】

- ・ G I G Aスクール構想は教え方のみならず先生の執務環境でも
- ・ 教職員の意見を聴いてほしい。

2 快適な学習生活空間・環境への配慮

【快適な学習生活空間】

- ・ 校舎の木造化、内装の木質化、RC造、S造、W造の検討
- ・ 南向きの校舎配置、十分な自然採光
- ・ すべての教室へのエアコン設置
- ・ プール・体育館と校舎の併設
- ・ 清潔感のあるシャワー室
- ・ 体に害のない建材の使用
- ・ 余裕のある空間の確保と維持管理しやすい配置
- ・ 密にならないような手洗い場スペースの確保

【トイレ】

- ・ トイレの洋式化
- ・ 明るく清潔なトイレ
- ・ 交流空間としてのトイレ
- ・ LGBT対応のトイレや更衣室
- ・ 広いトイレ、十分な個室の確保
- ・ シャワートイレ
- ・ 臭わないトイレ
- ・ 感染症対策や衛生面に配慮したトイレ
- ・ 清掃、メンテナンスしやすいトイレ
- ・ 感染症や潔癖症の方で和式を使用する場合もある。

【環境への配慮】

- ・ 環境教育の教材としての学校建築
- ・ エコスクールやZEB化の検討
- ・ 省エネ、先進的なエアコン

【だれもが使いやすい学校】

- ・ 段差の解消
- ・ L G B Tやハンディキャップへの配慮
- ・ いろいろなマイノリティのある方の意見を聴くのも良い。

【その他】

- ・ 生徒からのデザインの採用、総合的な学習における計画への参画
- ・ 過度に美しくしたり自動化しすぎるのはよくない。ある程度安価な施設にしてもよい。
- ・ 省エネ、ユニバーサルデザインについては一般的なもので良い。